

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)

【公開番号】特開 2023-53178(P2023-53178A)
【公開日】令和 5 年 4 月 12 日(2023.4.12)
【年通号数】公開公報(特許)2023-068
【出願番号】特願 2023-19531(P2023-19531)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 9 月 21 日(2023.9.21)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

本体枠に装着される遊技盤を備えた遊技機において、
前記遊技盤は、
遊技球が流下可能な球流下領域が形成され、透過性を有する流下領域部と、
前記流下領域部の後方に設けられ、前記流下領域部を透して視認可能な装飾面を有する裏装飾部と、
前記流下領域部の後方で前記裏装飾部を支持する特定支持部材と、
を具備し、
前記特定支持部材は、所定の本体部と取付孔とを有し、前記取付孔に取付ビスが挿通することで前記流下領域部の後方で支持されるものであり、
前記裏装飾部は、前記流下領域部の後方に貼り付けられることなく、前記特定支持部材における前記本体部の前方と前記流下領域部の後方との間に配置され、
さらに、前記特定支持部材は、前記流下領域部よりも小さく形成され、
さらに、前記裏装飾部は、前記流下領域部よりも小さく形成され、
前記特定支持部材における本体部の前方と前記流下領域部の後方との間には、前記裏装飾部の厚さよりも大きい隙間が形成される
ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

40

パチンコ機のような遊技機において、前方に遊技領域が設けられる透明な遊技パネルの後面に、絵柄が印刷される装飾フィルムを貼り付けることで、遊技パネルを通して見える装飾フィルムの絵柄によって遊技領域内を装飾するようにしたものが提案されている(例えば、特許文献 1)。しかしながら、従来のような遊技機では、装飾フィルムの皺や亀裂が生ずることによる見栄えの悪さから、遊技興趣の低下を招く虞があった。

【手続補正 3】

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0003
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

10

【特許文献1】特開2016-86943号公報
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技領域内の見栄えを良くして遊技者の興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

20

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、
本体枠に装着される遊技盤を備えた遊技機において、
前記遊技盤は、
遊技球が流下可能な球流下領域が形成され、透過性を有する流下領域部と、
前記流下領域部の後方に設けられ、前記流下領域部を透して視認可能な装飾面を有する裏装飾部と、
前記流下領域部の後方で前記裏装飾部を支持する特定支持部材と、
を具備し、
前記特定支持部材は、所定の本体部と取付孔とを有し、前記取付孔に取付ビスが挿通することで前記流下領域部の後方で支持されるものであり、
前記裏装飾部は、前記流下領域部の後方に貼り付けられることなく、前記特定支持部材における前記本体部の前方と前記流下領域部の後方との間に配置され、
さらに、前記特定支持部材は、前記流下領域部よりも小さく形成され、
さらに、前記裏装飾部は、前記流下領域部よりも小さく形成され、
前記特定支持部材における本体部の前方と前記流下領域部の後方との間には、前記裏装飾部の厚さよりも大きい隙間が形成されることを特徴とする。

30

40

また、本発明とは別の発明として以下の手段を参考的に開示する。
手段0：

遊技機において、
「前面側に遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技板と、遊技球の流路を変更させる開閉ユニットを具備している遊技機であって、
前記開閉ユニットは、
遊技の進行に応じて駆動させられる駆動手段と、
該駆動手段の駆動に基づいて可動するリンク部と、

50

前後方向及び左右方向へ広がる平板状の扉体と、
前記駆動手段、前記リンク部、及び前記扉体を収容支持している収容部と、
を有しており、

前記扉体は、前記リンク部の動作によって前後方向へ進退し、該進退によって遊技球の流路を変更させて所定入賞領域へ遊技球を入球可能にするものであり、上面視で前記駆動手段および前記リンク部と少なくとも一部が重なり、正面視で前記リンク部と少なくとも一部が重なるように設けられており、

また、前記扉体には、該扉体の後端から前方へ向かって切り欠かれて前記リンク部との接触を回避し得るように形成された接触回避部を有しており、

さらに、当該遊技機は、前記所定入賞領域に入球した遊技球を前記遊技板よりも後方に位置する裏誘導ユニットに誘導する特定通路を有しており、 10

前記所定入賞領域から前記裏誘導ユニットに至るまでの前記特定通路には、前記所定入賞領域とは異なる他の入賞領域に入球した遊技球が流入しない」ものであることを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

手段 1：遊技機において、

「遊技媒体の流路を変更させる開閉ユニットを具備している遊技機であって、

前記開閉ユニットは、

遊技の進行に応じて駆動させられる駆動手段と、

該駆動手段の駆動により上下方向の軸芯周りに対して回動可能に設けられている回動リンクと、 20

平面視において前記駆動手段及び前記回動リンクと少なくとも一部が重なり、正面視において該回動リンクと交差するように設けられており、上下方向へ貫通し該回動リンクとの接触を回避するため接触回避部を有し、前記回動リンクの回動により前後方向へ進退することで遊技媒体の流路を変更させるための前後方向及び左右方向へ広がる平板状の扉体と、

前記駆動手段、前記開閉リンク、及び前記扉体を収容支持している容器状のユニットケースと

を有している」ものであることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

このように、本発明によれば、遊技領域内の見栄えを良くして遊技者の興趣の低下を抑制させることが可能な遊技機を提供することができる。